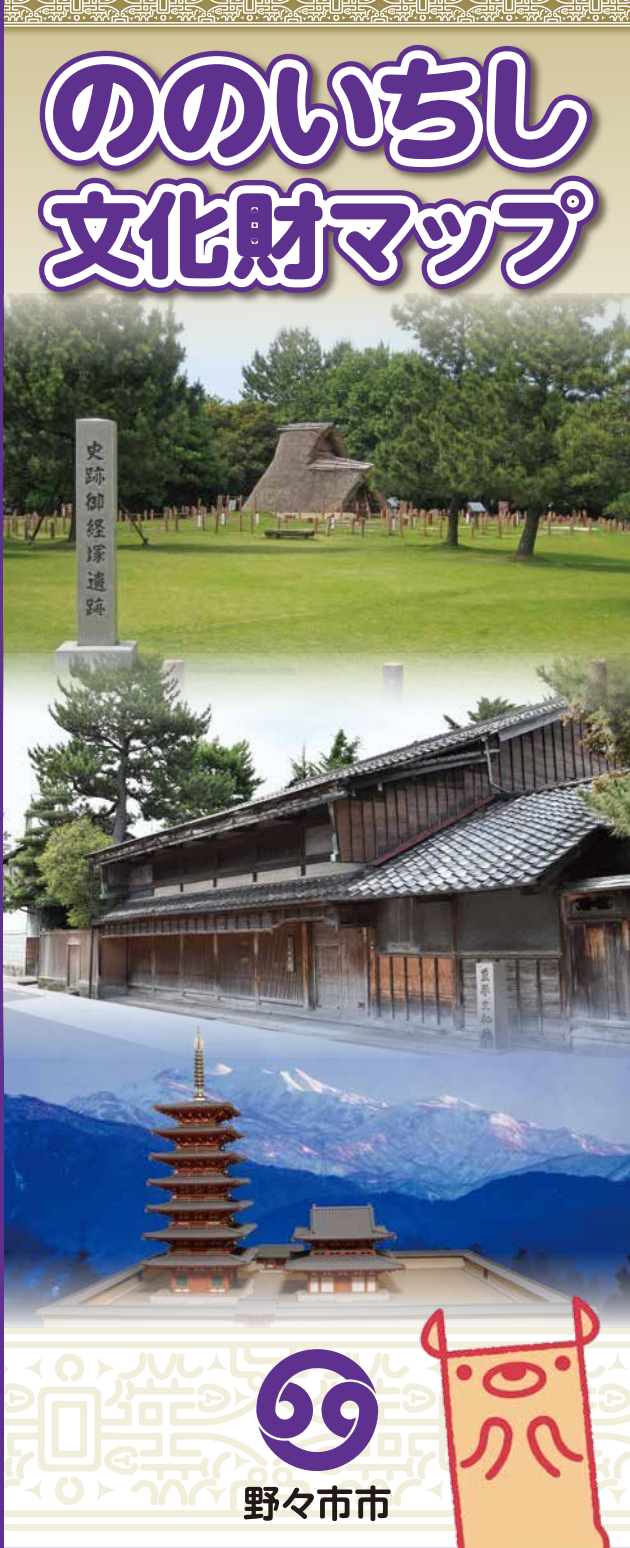




1 御経塚シンデレラ古墳群・御経塚シンデレラ遺跡 弥生時代後期から古墳時代初期は、集落跡がみられ、古墳時代前期になると集落は移動して前方後方墳と方墳で構成された古墳群が造られました。古墳からはお供えの壺などがみつかっています。 北部コース 16（歴史探訪 P19）	2 市指定史跡 経塚 経塚は中世に経典を後世に伝えるための地中に埋めて塚にしたものです。「御経塚(おきょうづか)」という地名の由来となった場所です。 北部コース 15（歴史探訪 P17）	3 4 国指定史跡 御経塚遺跡・野々市市ふるさと歴史館 縄文時代後期中葉～弥生時代初頭にかけて約1,200年の間続いた大集落の遺跡です。集落は環状集落で、中心には祭祀・集会の広場があり、その周りを住居や墓域で囲んでいます。現在は史跡公園として公開されており、復元竪穴住居や縄文時代の原生林が見学できます。 ★野々市市ふるさと歴史館 国重要文化財に指定されている御経塚遺跡の出土品のほか、末松廃寺跡や市内の各遺跡からみつかった遺物などを展示しています。 北部コース 18・19（歴史探訪 P23・24）	26 市指定史跡 布市神社（住吉の宮） 布市神社は、康平6年（1063）に富樫家国（とがしいえくに）が野々市に館を構えた際、敷地内に社殿を造営したことが始まりと伝えられ、もとは富樫郷住吉神社（とがしごうすけよしじんじや）と称していました。大正3年（1914）に本町地区にあった周辺の神社と合祀した際、布市神社と改名しました。 中央コース 19（歴史探訪 P40）	27 聖護院道興歌碑（本町二丁目） 文明18年（1486）に京都聖護院（しょうごいん）の僧・道興（どうこう）の『廻国雑記(かいこくざっき)』に記された歌の碑です。当時の野々市の賑わいを伝える歌が詠まれています。 中央コース 19-4（歴史探訪 P42）	29 雨乞石 江戸時代、日照りのときにこの石を担いで町内を廻ると、必ず雨が降ったことからこの名がついたと言われています。また、源義経（みなもとのよしつね）が富樫氏の館に立ち寄った際、家来の弁慶が余興にこの石を軽々と扱い遠くに放り投げたという伝説があり、弁慶（べんけい）の力石とも呼ばれています。 中央コース 19-5（歴史探訪 P42）	30 市指定建造物 水毛生家住宅 江戸時代末期に建てられた、表構えが切妻入（きりつまつまいり）となる農家型、内部の間取は町屋型の建物です。主屋は明治10年（1877）頃に京風に洗練された数寄屋（すきや）造りに建て替えており、茶屋・庭・土蔵が一体となった「茶の湯」のための空間が形成されています。 中央コース 20（歴史探訪 P44）	33 御手水池 位川の池上白山神社境内にあり、大乗寺の明峰（めいほう）和尚（徹通（てつつう）の誤りか？）を太平寺に葬った際、白山権現の靈験によって湧水がはじまったと伝えられています。 西部コース 24（歴史探訪 P82）		
5 御経塚オッソ遺跡 弥生時代後期の集落跡で、竪穴建物2棟と掘立柱建物1棟がみつかりました。うち1棟の竪穴建物は、量約16枚分（約26.5㎡）の大型のものです。 北部コース	6 長池キタノハシ遺跡・長池ニシタンボ遺跡 長池キタノハシ遺跡は室町・戦国時代、長池ニシタンボ遺跡は弥生から古墳時代初頭の集落跡です。長池キタノハシ遺跡からは道路と溝で区画された宅地、耕作地などがみつかっています。 北部コース 13・14（歴史探訪 P16）	7 上宮寺跡 押野山上宮寺と号し、浄土真宗大谷（おたに）派に属します。延文年間（1356～1360）に、唯性（ゆいしょう）という僧が押野に寺庵を建てたことを始まりとしています。 北部コース 9（歴史探訪 P12）	8 十村後藤家跡 後藤家は、江戸時代に村々を管轄する「十村」役を代々勤めました。泉野台地の開墾や長坂用水の整備を行ない、泉野村や長坂新町（現金沢市）を成立させ、農政に尽くしました。建物は平成16年（2004）に解体されています。 北部コース 7（歴史探訪 P10）	9 押野大塚遺跡 縄文時代後期前半の集落跡です。手取川扇状地に最も早く縄文人が定住した場所です。石垣炉（いしがこいろ）を持つ住居や市内最古の土器や石器がみつかっています。 北部コース 4（歴史探訪 P7）	10 押野ウマワタリ遺跡 弥生時代後期の集落跡です。竪穴建物からは未完成の管玉と玉の素材となる原石の剥片や砥石などがみつかり、玉作りが行われていたと考えられます。 北部コース	32 市指定文化財 旧魚住家住宅（野々市市郷土資料館 NoNo） 旧魚住家住宅は、江戸時代末期に石川郡村井村に建てられた農村の商家を野々市の魚住家が買い取り移築したものです。表構えは街道沿いに見られる町家の造りですが、奥は農家の造りとなっています。このような町家風農家は金沢近郊の北国街道沿いでよく見られました。 ★野々市市郷土資料館 NoNo 旧魚住家住宅の内部を見学できるほか、郷土に関する資料を展示しています。1階では食事も喫茶が可能です。 中央コース 26（歴史探訪 P55）	61 国登録有形文化財 旧藤村家（田村家）住宅 もとは明治・大正期の実業家である藤村理平（ふじむらりへい）の旧宅で、明治11年（1878）の明治天皇北陸巡幸時は休憩所にあてられました。明治天皇が休憩した離れをはじめ、表門、後ろの蔵などが残っています。明治後期に田村家が移住し、昭和14年（1939）に主屋を建替えました。主屋は凝った細工や華やかな欄間彫刻などがみられる近代和風建築として評価されています。 中央コース	35 堀内館跡 鎌倉時代後半の館跡です。館を囲む幅1.1～1.5m、深さ約1mの堀がみつかり、堀の中からは祭祀に使われた土師器皿が複数枚まとまってみつかっています。 西部コース	
11 押野タチナカ遺跡・押野館跡 押野タチナカ遺跡は弥生時代後期の集落跡です。多数の竪穴建物などがみつかりました。また室町時代には、加賀守護・富樫高家（とがしたかいえ）の弟家善（いையし）の居館押野館がありました。 北部コース 8（歴史探訪 P11）	12 横川本町遺跡 野々市市と金沢市の境界にある遺跡です。野々市市側では弥生時代後半の集落跡が、金沢市側では地域の権力者たちが埋葬された墳墓群（ふんぼぐん）がみつかりました。 北部コース	13 大乗寺跡 富樫家尚（とがしいえひさ）と僧澄海（しょうかい）が永平寺より徹通義介（てつつうぎけい）を招いて、永仁元年（1293）に開いた加賀国最初の禅寺です。加賀守護を務めた富樫氏の菩提寺でもありました。 北部コース 2（歴史探訪 P5）	14 北横宮 本町二丁目北部（通称 新町（しんまち））の鎮守である白山神社の旧社地にあたります。当初はこの場所に本殿が建っていましたが、江戸時代後半に現在の白山神社にうつされました。 中央コース 16（歴史探訪 P38）	36 三日月ヒガシタンボ遺跡 弥生・奈良・平安・室町時代の集落跡です。奈良・平安時代の集落の近くには古代北陸道が通っています。室町時代の集落からは祭祀に使ったとされる鉄鍋がみつかっています。 西部コース	37 古代北陸道 奈良・平安時代の官道（国が整備・管理した道路）で、両側に溝を、それぞれ幅8mの道路です。路面の一部では土を叩きしめた所があり、舗装整備していたようです。三日月A遺跡では道路近くから大型掘立柱建物がみつかっています。 西部コース	38 三日月A遺跡 弥生・奈良・平安・室町時代の集落跡で、遺跡範囲は市内最大の規模です。集落の他に弥生時代は方形周溝墓、奈良・平安時代は古代北陸道（こだいほくろくどう）が通っています。 西部コース 7（歴史探訪 P63）	39 二日月イシバチ遺跡 弥生・古墳・室町時代の集落跡です。弥生後期から古墳時代初期の集落には、複数の竪穴建物や掘立柱建物がみつかり、竪穴建物からは多くの土器や石器がみつかっています。 西部コース 11（歴史探訪 P67）		
19 扇が丘ゴシヨ遺跡 弥生時代後期から室町時代にかけての集落跡です。弥生時代の竪穴建物、奈良・平安時代の倉庫、鎌倉・室町時代の掘立柱建物や井戸がみつかりました。 中央コース 5（歴史探訪 P30）	20 扇が丘ハイゴク遺跡 鎌倉・室町時代の集落跡です。大型の掘立柱建物がみつかり、当地を治めた有力武士の館であったと推測できます。 中央コース 4（歴史探訪 P30）	21 市指定史跡 富樫館跡 石碑 昭和42年（1967）に金沢工業大学と富樫郷土研究会（現 富樫氏顕徳会）が富樫館の存在を知ってもらうために建てたものです。実際の館跡は約500m南下した場所にあります。 中央コース 11（歴史探訪 P34）	23 野々市尋常高等学校跡地 明治7年（1874）住吉小学校の校舎が建ち、明治25年（1892）野々市尋常高等小学校と名称が改まりました。昭和36年（1961）小学校が本町五丁目に移設され、廃校となりました。 中央コース 18（歴史探訪 P39）	40 郷コボタ遺跡 弥生時代から室町時代にかけての集落跡です。奈良・平安時代には、公的施設と考えられる倉庫群がみつかりました。室町時代には、宅地と溝で区画された有力者の屋敷地がみつかりました。 西部コース	41 光松八幡神社 もとは徳用村の鎮守社でしたが、明治4年（1871）に旧加賀藩主前田斉泰（まへださなりやす）から八幡神を授け八幡神社と改めました。神社には前田家ゆかりの貴重な史料がみつかりました。 西部コース 12（歴史探訪 P68）	42 徳用クヤダ遺跡 室町時代の集落跡です。集落の宅地は溝や道で規則的に区画され、大溝で囲まれた屋敷地もみつかりました。有力者を埋葬したお墓も確認されており、中からは副葬品の香炉がみつかりました。 西部コース	43 徳丸ジョウジャダ遺跡 弥生時代後期の集落跡です。竪穴建物2棟がみつかり、うち1棟からは、製作途中の管玉がみつかり、玉作りが行われていたと考えられます。写真提供：（公財）石川県埋蔵文化財センター 西部コース	44 三納アラムミ遺跡・三納トヘイダゴシ遺跡 三納アラムミ遺跡は奈良・平安時代の集落跡で、竪穴建物などがみつかり、三納トヘイダゴシ遺跡は室町時代の集落跡で、集落の周りからは水田跡もみつかりました。 南部コース 3・4（歴史探訪 P86）	45 三納ニシヨサ遺跡 鎌倉時代末から室町時代の集落跡です。輸入白磁・青磁のほか銅製鏡がみつかることから、地域の有力者が居住していたと考えられます。 南部コース 5（歴史探訪 P86）
22 市指定史跡 守護所富樫館跡 富樫氏は加賀における有力な武士団です。建武2年（1335）加賀国守護・富樫高家（とがしたかいえ）は野々市に館を構え、守護所として加賀国の政務を執り行いました。平成6年（1994）の発掘調査で館を囲む堀の一部がみつかりました。堀は幅6～7m、深さ2.5mの規模で中から銅鏡などがみつかりました。現在は広場として公開しています。 中央コース 14（歴史探訪 P36）	24 道路元標（野々市村） 道路元標は路線の起点または経過地を表示する標識で、明治6年（1873）より政府の要請で建てられました。野々市村の道路元標は、大正9年（1920）に当時役場があった現在地に建てられました。 中央コース 23（歴史探訪 P51）	52 上新庄ニシウラ遺跡 古墳時代前期と奈良・平安時代の集落跡です。近江（おうみ）や丹波（たんば・現京都府）で作られた土器がみつかることから、これらの地域から人や物が来たことがうかがえます。 南部コース 25（歴史探訪 P104）	53 上林古墳 古墳時代後期に造られた市内唯一の横穴式石室をもつ古墳です。石室の基礎石のみ残っており、規模は全長7.9m、玄室は長さ4.7m・幅1mです。 南部コース 24（歴史探訪 P104）	54 上林新庄遺跡 古墳時代後期から奈良・平安時代の集落跡です。古墳時代末頃から製鉄に従事する鍛冶工人が居住しており、フイゴ羽口など製鉄に関係する道具がみつかりました。 南部コース 23（歴史探訪 P103）	55 市指定天然記念物 上林の大椎 古来より林郷八幡（はやしごうはまん）神社の神木とされてきました。かつては、胸高の幹回りが10.8mあり、全国でも第二位の太さを誇っていました。 南部コース 21-1（歴史探訪 P102）	60 国指定史跡 末松廃寺跡 白鳳時代の7世紀後半に創建された北陸最古級の寺院です。西に金堂、東に塔を並立して建てた法起寺式の伽藍配置をとっています。出土品では瓦や瓦塔の破片がみつかりました。瓦塔の破片の一部には女性像が描かれたものもみつかりました。 南部コース 18（歴史探訪 P97）			

展示施設一覧 喜多家住宅 ●電話／（076）248-1160 ●住所／野々市市本町三丁目8番11号 ●開館時間／午前9時～午後5時 ●休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始 ●観覧料／一般400円 高校生以下200円 ※未就学児無料 団体（10人以上）100円引	野々市市郷土資料館 NoNo ●電話／（076）246-2672 ●住所／野々市市本町三丁目19番24号 ●開館時間／午前9時～午後5時 ●休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始 ●入館料／無料 ●ののいち歴史探訪（B6判）¥1,000 販売中	交通のご案内 ■自動車／北陸自動車道金沢西ICから4.8km ■バス／北 鉄：「野々市本町3丁目」バス停から喜多家住宅30m、郷土資料館90m のつて：北部ルートもしくは中央ルート「喜多家住宅」バス停から喜多家住宅30m、郷土資料館90m
野々市市ふるさと歴史館・御経塚史跡公園 ●電話／（076）246-0133 ●住所／野々市市御経塚一丁目182番地 ●開館時間／午前10時～午後4時 ●休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）・国民の祝日の翌日（土・日を除く）・年末年始 ●入館料／無料 ●ののいち歴史探訪（B6判）¥1,000 販売中	交通のご案内 ■自動車／北陸自動車道白山ICから2.6km ■バス／IRいしかわ鉄道「野々市駅」から600m ■バス／北 鉄：「御経塚中」バス停から300m のつて：北部ルート「御経塚史跡公園」バス停から200m	末松廃寺跡 ●電話／（076）227-6122 ●住所／野々市市末松二丁目地内 ●休日／なし・随時見学可 ●入場料／無料 ●問い合わせ／野々市市教育委員会生涯学習課
交通のご案内 ■自動車／北陸自動車道白山ICから6.5km ■バス／北 鉄：「県立大学」バス停から900m のつて：南部ルート「末松」バス停から400m		